4.メニューバーの項目

(1)ファイル

新規作成

新規の図面を作成	表示中の図面を画面上で全てクリアする。	
	- 秋小十の四回と四回上 (エ (ノ)) う 3	5



新規作成時には用紙サイズ、向き、縮尺を指定して図面枠 (用紙枠)を設定することが出来ます。

見て開くプレビュー付きのファイル一覧で、読み込むファイルを選択。開く読み込むファイルを選択。開き直す今までに開いたファイルを履歴から読み直す。(最高9件まで記憶)

上書き保存編集中の図面を読み込んだファイルに保存する。

名前を付けて保存 編集中の図面を任意のファイルに保存する。

閉じる 表示中の図面を画面上で全てクリアする。(新規作成と同じ)

BMPorJPEG**に保存** 指定範囲を背景白でBMPファイルまたはJPEGファイルに白黒2値 形式で保存する。

(『9.その他』「BMP・JPEGに保存する」の項(P107)参照)PC定規を終了する。

(2)印刷

終了

補助線印刷	補助線を印刷するかどうかを指定する。
表示領域印刷	表示領域を最大に全て印刷する。
印刷100%	通常の印刷、選択用紙の大きさの印刷範囲を指定する。
印刷 72%	72%の縮小印刷、例えばA2用紙用に書いた図面をA3用紙に印刷する。
印刷 50%	50%の縮小印刷、例えばA1用紙用に書いた図面をA3用紙に印刷する。
原寸印刷	原寸 (S=1:1) で印刷する。 Free

(3)編 集

やり直し	いわゆる1回アンドゥ。(再度クリックすると元に戻る)
選択部コピー	ブロック操作で選択中の要素をクリップボードにコピーする。
貼り付け	クリップボードにコピーされた要素 (画像も可能) を貼り付ける。
BMP コピー	表示部をそのままビットマップとしてクリップボードにコピーする。
BMP コピー (倍)	同上、ビットマップの大きさは表示の倍となる。

(4)表示

背景を白にする作図ウィンドウの背景を白にする。主にワープロ等に張り付ける ビットマップを作成するのに使用する。

(再度クリックすると、元に戻ります)

《補足》

「背景を白にする」をクリックすると、ペン色がグレーに変わりま す。(印刷太さが1,2は明るいグレー、3,4は暗いグレー、その他 は黒。但し、最も太い設定のPenは黒となります) ペン色をカラーに戻したい場合は『設定..(S)』の「ペン色・幅」画 面の下部にある「白黒表示とする」のチェックを外して下さい。

(5)ウィンドウ

大きさ指定

作図ウィンドウの大きさ(ドット)を指定する。

図枠の幅	856	(10%)	640 ×	400
枠の高さ	631	(1*21)	640 ×	480
_	8174 (mm)	800 ×	600	
幅サイズ		(mm)	480 ×	640

表示されているのが 現在の値です。

<こんな時に >

『編集(E)』の「BMPコピー」及び「BMPコピー(倍)」では表示部全てが クリップボードにコピーされるので、この大きさ指定によってウィンドウ のサイズを調整すると便利です。

<1> 作図ウィンドウに第1図面を表示する。

<2> 作図ウィンドウに第2図面を表示する。

グループ別表示 表示中の範囲をグループ別に最高16の枠に表示する。

(レイアウト表示は1 , 4 , 16枚の3種類から選択出来ます)

レイヤー別表示 表示中の範囲をレイヤー別に最高16の枠に表示する。 (レイアウト表示は1,4,16枚の3種類から選択出来ます) 《補足》 表示画面の一番右端にあるスクロールバー上下の「」又は「」 ボタンをクリックして画面を切替えます。元の画面に戻るには 画面右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックして下さい。

(6)設 定

設定ウィンドウを開く。(『3.設定項目』の項(P47)参照)

(7)ツール

線/字の重複整理 重複線の細い方を削除する。部分重複している場合は切断する。

JW CAD**外部変形** JW CAD用(DOS)の外部プログラムを呼び出す。

- (完全互換ではありません。動作しないものについてはお問い 合わせ下さい)
- **数値表で直線列作図** 数値指定(絶対値、相対値)での連続線を作成。

(『9.その他』「数値直線」の項(P103)参照)

括弧[{(-)}]の作図 括弧を作図する。 Free

(一定したサイズで利用される場合は画面右横にある「表示・ 非表示切替ボタン」の「方眼」ボタンをクリックし、グリッ ド表示にした方が便利です)

数値で作図(一筆書き) 数値で直線を作成する。



始点をクリック後、入力した数値の直線を作成することがで きます。入力を省略した場合は、グリッド間隔となります。 (フリーウェアモードでは補助線のみでの作図となります)

《補足》

数値の入力は、数値入力欄をクリックする、または「入力値の ピッチで矢印キー作図する」のチェックマークを外してから入力します。 矢印キー作図の場合には、入力後「入力値のピッチで矢印キー作図 する」にチェックマークを入れます。

2 画面でレイヤー編集 グループ・レイヤー編集(移動)を2つの画面で行う。 Free (『9.その他』「2画面でレイヤー編集」の項(P105)参照)

(8)ヘルプ

目次	ヘルプの目次を表示する。
キーワード検索	ヘルプのキーワード検索画面を表示する。
ヘルプの使い方	ヘルプの使い方画面を表示する。
メールで問合せる	弊社のメールアドレスでメールソフトが起動する。
最新のダウンロード	弊社のホームページが開く。
バージョン情報	現在使用中のPC定規のバージョンと、ユーザー認証IDを表示する。
	《注意》
	Ver5.20以降ヘルプファイルはソフトに同梱されておりません。
	当社ホームページ、PC定規のページからダウンロードして下さい。